

南アルプス南部の登山口「遠山郷」

長野県飯田市上村・南信濃地区を総称して遠山郷と呼ばれています。遠山郷は、南アルプス(赤石山脈)の南部西側に中央構造線に沿って遠山川が南下し、南アルプスの登山口であるとともに、遠



光小屋稜線より富士を望む

山の霜月祭りに代表される歴史を有した町です。飯田市街地から東に向かい車で約一時間程の位置にあります。

◆南アルプス南部の登山口

南アルプス最南の三、〇〇〇以上の峰の聖岳(標高三、〇一二メートル)とハイマツ群生の日本最南端の地を望む光岳(標高二、五九一メートル)の百名山への長野県側の登山口にあたり、南から鶏冠山、池口岳、加々森山、光岳、イザルガ岳、易老岳、仁田岳、茶臼岳、上河内岳、聖岳、兎岳、大澤岳そして赤石岳へ続く尾根は大自然のまったただ中にあり、朝日が富士山より昇る季節はこ来光を仰ぎいただく峰々がそこにあります。しかし、落石を繰り返す林道と登山口より尾根まで五時間を超える急登が待っており、体力がかなり必要なことから、中級以上の登山者にお勧めのルートとなっております。

◆遠山の霜月祭り

(国重要無形民俗文化財)

十二月に入ると順次、遠山郷各地区の神社において、日本国中の神々を呼び集めて、各神社には湯釜が置かれ、数時間にわたり古くから伝わる数々の面を拝した舞がつづき、大きな釜は熱湯をたぎらせ、クライマックスには舞いながら素手で熱湯をまくといった湯立神楽を奉納する霜月祭りは、山深いこの里の厳しい自然の中に息づいた素朴な信仰とエネルギー

ギーを今に伝えていきます。

◆下栗の里(ふるさと百選)

国道一五二号線から車で約二十分ほど登ると山の斜面に上村「下栗」という集落があります。平らな部分は各家々の敷地で畑は平らなものを採すことはほとんどできません。集落の中をつづら折りに通る道は当然大型車は通行困難な狭隘なものとなっております。この下り坂を初めて運転する時は曲がり道で道の先が見えず足の震えを覚えることでしょう。春は新緑の芽吹きと山桜が谷から登り、秋には紅葉がアルプスの尾根から下る遠山谷の風景を一望できます。童話作家椋鳩十氏はこの遠山谷からいくつもの童話を誕生させています。



耕して天に至る下栗の里集落

この地域の国有林野は南アルプスを主体に管理し森林生態系保護地域など各種保護林のみならず、地元の方々と共に後世に残す努力を行っています。

◆アクセス

(下栗の里所在地)

長野県飯田市上村

○車でお越しの場合

中央自動車道飯田ICから矢筈トンネル経由で七十五分。

○公共交通機関を利用の場合

JR飯田駅から路線バス遠山郷線で六十分、上町バス停下車、バス停からタクシーで十五分。



霜月祭「湯立ての神事」